

議論の白熱で

H22年度の施政方針と予算審議が中心の3月4日開催した。4・5日は一般質問(詳細は6・14頁)8・9日はH22年度当初予算(予算審査特別委員会へ付託・最終日23日採決。詳細は2・3頁)を除く21議案を可決した。また23日には当初予算(10件)に加え、教育委員の選任同意ほか4件の追加議案を可決し閉会した。

審議の過程で、「監査委員の指摘事項への対応が不透明」と議会が反発。これについて調査特別委員会を置くこととした。また指定管理者の選任(2件)では、内容が不明確なことから一件は修正提案、もう一件は提案前に議案書の差替えが行われ議論が白熱した。

物品購入等調査特別委員会を設置

前述の物品購入等を調査する事を目的とした理由として、コピー機の導入には、導入伺書・見積り書・契約締結伺書そして契約書の順にされている。合併前の物もあり、保管場所も不明確で料金体系も時期や型式によりまばらで現況がつかめていない面が多い。

・学校などで93台が設置。今後の負担や契約について望ましい体系も含め調査する事とした。

リース期間終了後に町へ譲渡するものやリース、導入時に無償で交付設置(無料で保守は別途契約)などさまざまである。本庁舎や支所、自治センター

時間外代休時間の新設へ

職員には振替休日や代休制度があるが、時間外に勤務した場合を代休として取得できる事とする。この事で時間外の縮減にはなるが、管理する側の責任は増すと考えられる。

予算に関わる条例可決

●心のふれあい相談員1名を甲山中学校に配置し町内の小中学校の子どもと保護者の相談に校長先生の依頼により対応。他にふるさと夢基金事業審査会委員5名、CATVを充実させるため2名の嘱託職員も配置する。

●地域活性化推進基金を1億円積立てしていた。事業充当しH21年の一般会計に繰入れた。

●県営土地改良事業の受益者から徴収する賦課金(補助対象費に12・5%以内)と建設

公営企業職員(上下水道課)の給与は一般職員に準じて支給していたが、条例にて準用関係を明確にするため改正となった。

事業の分担金の率も可決。

●町営土地改良事業の黒淵2号水路を8m延長し用水路をもうける

工事と、徳市地区の農業用排水路整備を交付金での計画を廃止し、地元による維持修繕で対応する旨、了承した。



八田原グリーンパーク オートキャンプ場

教育委員会委員の任命選任に同意

◎教育委員

米 重 典 子 氏 (世羅町大字西上原)

教育委員5名中、前教育長の任期切れで1名空席となっていた。

任命期間

H22年3月24日からH26年3月23日まで

(賛成14・反対1)